

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-153191

(P2002-153191A)

(43) 公開日 平成14年5月28日 (2002.5.28)

(51) Int.Cl.⁷

A 0 1 K 97/10

識別記号

F I

A 0 1 K 97/10

タームコード* (参考)

B 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-357349 (P2000-357349)

(22) 出願日 平成12年11月24日 (2000.11.24)

(71) 出願人 300081291

宮武 寛治

大阪府豊中市豊南町西2丁目7番4号

(72) 発明者 宮武 寛治

大阪府豊中市豊南町西2丁目7番4号

(74) 代理人 100065190

弁理士 森脇 康博

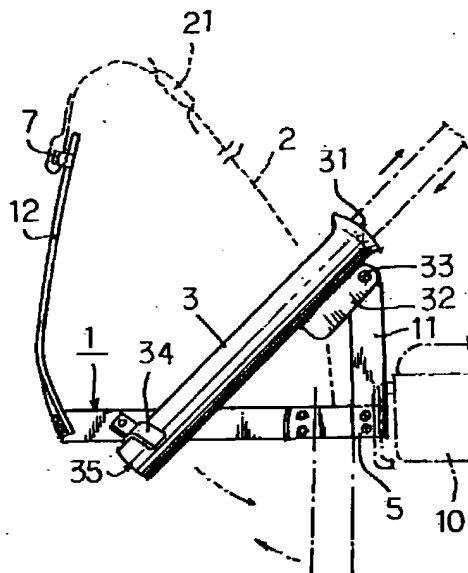
Fターム (参考) 2B109 CA02

(54) 【発明の名称】 携帯釣り竿保持具

(57) 【要約】

【課題】 釣り竿を手で保持しなくても腰に当てた姿勢で水平又は前傾状に保持することが可能で腕が疲れず、且つ釣りに必要な諸動作を迅速且つ楽に行うことのできる釣り竿保持具を提供する。

【解決手段】 腰部に横から装着されるように着脱自在に保持されるホルダー本体と、このホルダー本体に連結されて肩部に係止される吊掛体、及び前記ホルダー本体に水平又は前方上向き傾斜から垂直状に起伏自在に取付けられて釣り竿の竿尻端を掛止する竿掛けとよりなることを特徴とする。前記竿掛けは、筒状体形成して、先端の開口部より釣り竿の竿尻抜き差し自由に嵌挿保持するように構成することにより問題点を解決する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 腰部に横から装着されるように着脱自在に保持されるホルダー本体(1)と、このホルダー本体に連結されて肩部に係止される吊掛体(2)、及び前記ホルダー本体(1)に水平又は前方上向き傾斜から垂直状に起伏自在に取付けられて釣り竿の竿尻端を掛止する竿掛け(3)とよりなることを特徴とする携帯釣り竿保持具。

【請求項2】 前記竿掛け(3)は、筒状体に形成して、先端の開口部(31)より釣り竿の竿尻抜き差し自由

に嵌挿保持するように構成されてなる請求項1記載の携帯釣り竿保持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、川や池又は海等で、魚釣りをする場合に、釣り竿を手で持たなくても脇腹に当てがった状態で水平又は垂直状に起伏自在に保持できるようにした携帯釣り竿保持具に関する。

【0002】

【従来の技術】魚釣りをする場合の従来の釣り竿保持具としては、専用の腰ベルトにカップ状の受台を取付けて、この受台に竿尻端を当てがって固定し、竿の中間部を手で支えるようにしたものが一般的であった。

【0003】釣り竿は、受台に固定された竿尻端を支点にボンピングしたり、水平又は前傾斜姿勢に保持するものであるが、終始片手又は両手で支えるように保持して操作する必要があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来の釣り竿保持具では、釣り竿の竿尻端を受台に当てがうだけであるから竿の中間部を手で持って支えなければならず、従って常に片手又は両手は竿保持のためにふさがっている

ので、例えば川に立ち込んで長時間竿を保持すると腕が疲れる他、竿を保持したままでは仕掛けを調整したり、餌の付け替え、又は魚の取り込み等の各種諸動作を行うことが非常に困難であり、スピーディに処理できないという問題点を有していた。

【0005】本発明の目的は、釣り竿を片手又は両手で保持しなくても長尺の釣り竿を腰に当てた姿勢で水平又は前傾状に維持できるとともに、片手又は両手で竿の一部を持ってボンピングしたり、垂直に立てたりすることを可能にし、手で竿を持たないので腕が疲れず、釣りに必要な諸動作を迅速且つ楽に行うことのできる携帯釣り竿保持具を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】上記目的を達成するために本発明における携帯釣り竿保持具は、腰部に横から装着されるように着脱自在に保持されるホルダー本体と、このホルダー本体に連結されて肩部に係止される吊掛体、及び前記ホルダー本体に水平又は前方上向き傾斜から垂直状に起伏自在に取

付けられて釣り竿の竿尻端を掛止する竿掛けとよりなるものである。

【0007】上記構成の釣り竿保持具は、ホルダー本体を釣り人の腰に装着するとともに、吊掛体を首又は肩に掛けるようにすると、全体が身体にフィットして安定するため、この保持具の竿掛けに釣り竿を延ばして竿尻を掛止させると、釣り竿は全体が竿掛けに水平又は、前方上向き傾斜に保持される。従って、延ばした釣り竿を片手又は両手で支えなくても手ぶらの状態で釣りの姿勢を保つことができる。

【0008】しかも、竿掛けに釣り竿を保持させたまま釣り竿を水平位置から垂直位置へ自由に起立させることができるため、延ばしたまま又は短縮した状態で移動を楽に行うことができる。

【0009】また、好ましくは前記竿掛けは筒状体に形成して、先端の開口部より釣り竿の竿尻抜き差し自由に嵌挿保持するように構成される。かかる構成とすることにより、釣り竿をワンタッチで筒状の竿掛けに挿入したり、抜き取ることができ、釣りの諸操作をスピーディに而もスムーズに行うことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】ホルダー本体を横から腰に当てがうとともに、吊掛体をたすき掛け状に首又は肩に掛けるようにして釣り人の身体に装着する。釣り竿の竿尻端を筒状の竿掛けに先端の開口部より挿入する。竿を延ばすと、前方に掛る重心の関係で竿は水平又は前方上向き傾斜に保持される。竿掛けの筒状体は枢支部を支点に起伏し得るため、竿を立てたり水平に保持することができる。

【0011】以下、図面を参照した本発明の好ましい実施例を説明する。

【0012】

【実施例】図1乃至図3は、本発明釣り竿保持具の一実施例を示したものであり、同図中、図2及び図3は図1に示す釣り人が装着している釣り竿保持具の側面図と平面図である。

【0013】ホルダー本体1は、金属の帯バンドを半円状に形成して釣り人の腰に横から当てがって、フィットできるようにし、一端(前部)を折返して該部をエサ箱10の取付部5となす。また、このホルダー本体1の前部と後部に吊掛体2の取付部6、7を設けて、その夫々に吊掛体2の両端部を結び付ける。吊掛体2はショルダーベルトのような帯ひも又はゴムバンドが用いられる。ショルダーベルトは中途部に調節具21を設けて長さ調整ができるようにする。

【0014】竿掛け3は、ホルダー本体1の中間部外面に位置するように取付けられる。このような竿掛け3は金属の円筒体を前方上向き傾斜から垂直状に起伏自在に取付けられ、先端の開口部31はラッパ状の広がりをも

【0015】ホルダー本体1の前部の取付部5に垂直に立上るポスト11を固定し、このポスト11の上端部にブラケット32を介して竿掛け3を枢軸33にて取付け、この枢軸33を支点に起伏するよう回動可能となす。

【0016】ホルダー本体1には、円筒体からなる竿掛け3の後部を下から嵌支するように機能する係止体34が設けられている。この係止体34と前部の取付用枢軸33との関係により竿掛け3の取付角度は自由に決められる。

【0017】吊掛体2の後端部は、ホルダー本体1の後部に連結かん12を介して結び付けられる。しかし、連結かんを用いなくて、ダイレクトに取付けることもできる。

【0018】ホルダー本体1は、金属の帯バンドで構成するのが最適であるが、巾のある皮革又は合成樹脂の成形品であっても差支えない。また、帯バンドの両端を締具により締結するようにしてもよい。

【0019】上記したホルダー本体1は、一体もので形成されても、また図3に示すようにいくつか分割して継手部13で継ぎ足すようにする。さらに、高高になるのを防ぐため、継手部にヒンジ金具を設けて折りたたみ式にすることもできる。

【0020】竿掛け3を構成する円筒体は、底部に底板35を設けて、釣り竿を嵌挿した場合に底板で支持されるようにする。

【0021】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明は腰部に装着されるホルダー本体と、このホルダー本体に連結されて肩部に吊掛けられる吊掛けられる吊掛体、及びホルダー本体に水平又は前方上向き傾斜から垂直位置に起伏自在に取付けられた竿掛けとにより構成されるものであるから、長い釣り竿を腰に当てがうように設けられた竿掛けにより竿尻端を掛止するだけで、竿を手に持ったり、支えなくても、楽に長い釣り竿を水平状態に保持できるとともに、両手が自由に使えるので、エサの付け替えや道具、仕掛けの取扱いを安全且つ容易に行うことができる。また、竿を垂直に立てたり、水平に倒す操作がワンタッチで迅速に行えるため、移動等も楽に行うことが可能であり、且つ構成が簡単で耐久性があり安価に実施できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明釣り竿保持具の一実施例を示すもので、保持具を身体に装着した実際に釣りをを行っている状態の側面図である。

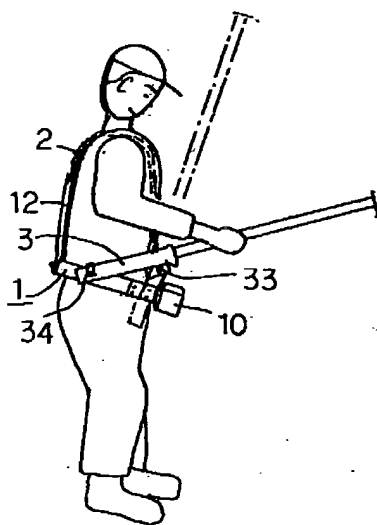
【図2】同釣り竿保持具の拡大した側面図である。

【図3】図2の平面図である。

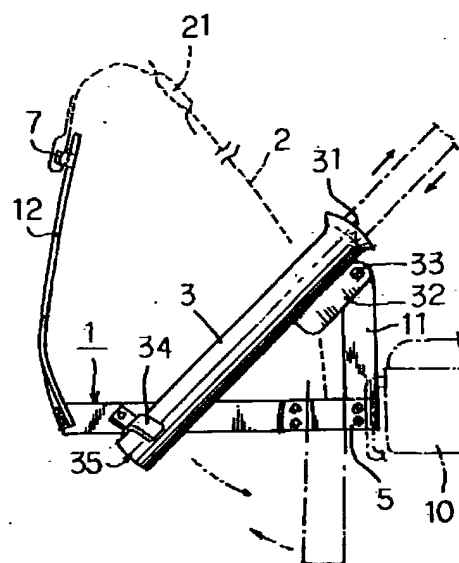
【符号の説明】

- 1 ホルダー本体
- 2 吊掛体
- 3 竿掛け
- 4 開口部

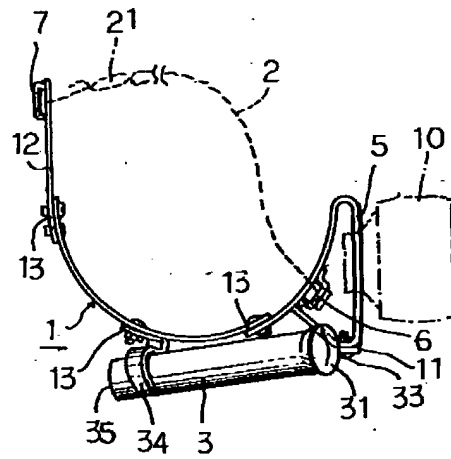
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP02002153191A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002153191 A
TITLE: PORTABLE FISHING ROD-HOLDING DEVICE
PUBN-DATE: May 28, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MIYATAKE, KANJI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MIYATAKE KANJI	N/A

APPL-NO: JP2000357349

APPL-DATE: November 24, 2000

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fishing rod-holding device capable of horizontally, or in a forward tilting posture, holding the fishing rod in a posture without holding the fishing rod by hand, without tiring the arm and rapidly and easily carrying out various actions required for fishing.

SOLUTION: This portable fishing rod-holding device comprises a holder itself removably held to be laterally held on the chest, a hanging body connected to the holder and held on the shoulder and a fishing rod holder for engaging the rod end of the fishing rod by being attached to be freely lying or standing to

the aforesaid holder in a horizontal posture or a tilting in from forward and upward to a vertical posture. The problem is solved by forming the aforesaid fishing rod holder in a cylindrical shape and constituting to hold the rod end of the fishing rod from the top opening to be freely inserted and held.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

DERWENT-ACC-NO: 2002-593858

DERWENT-WEEK: 200264

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable fishing-rod holder has pole
suspending body which extends at inclined angle from
holder body and hanging material which suspends
holder body to shoulder of fishing person

PATENT-ASSIGNEE: MIYATAKE K[MIYAI]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0357349 (November 24, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 2002153191 A		May 28, 2002	N/A
004	A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2002153191A	N/A	
2000JP-0357349	November 24, 2000	

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002153191A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The holder has a holder body (1) suspended by a hanging material (2) to the shoulder of a fishing person. A pole suspending body (3) extends at an inclined angle from the holder body, to secure the base end of a fishing rod.

USE - Portable fishing-rod holder.

ADVANTAGE - Simplifies and expedites fixing fishing rod to fishing-rod holder.
Simplifies holding of fishing rod, suppressing tiring of arms.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the side view of the portable fishing-rod holder.

Holder body 1

Hanging material 2

Pole suspending body 3

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/3

TITLE-TERMS: PORTABLE FISH ROD HOLD POLE SUSPENSION BODY
EXTEND INCLINE ANGLE

HOLD BODY HANG MATERIAL SUSPENSION HOLD BODY
SHOULDER FISH PERSON

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-471391